

公民館祭りに向けて各教室の活動活発化



クラフトバンドを使ったバッグ作りの教室は、10月15日に続き22日にも行われました。10月22日には、12名のメンバーが参加し、講師の鈴木先生と補助の北井さんの指導のもとに、主にバッグの持ち手作りに取り組みました。

クラフトバンドバッグづくり教室

クラフトバッグの制作に取り組む様子

早い方は仕上げの段階に入っていました。11月19日に最後の教室が行われ、未完成の数名の方が仕上げに取り組むことになっていきます。

この「公民館だより」を地域の皆様をご覧いただいている時には、公民館祭りは既に終わっていますが、素晴らしい作品の数々が展示されていたことと思えます。



奥野田

公民館だより



発行
奥野田公民館

館長：廣瀬

FAX ☎

主事：中山

FAX

押し花絵教室

十一月九日(月)には、今年度五回目の押し花絵教室が開かれました。この日は参加者が二名だけでしたが、指導者の雨宮先生と三人で真剣に押し花絵の制作に取り組んでいました。

小さな押し花の画材を一片づつ下絵に貼り付けていく作業は、マスク越しの呼吸さえ控えめにしているように思われまじった。画材の押し花の準備も手がかかったことと推察しました。

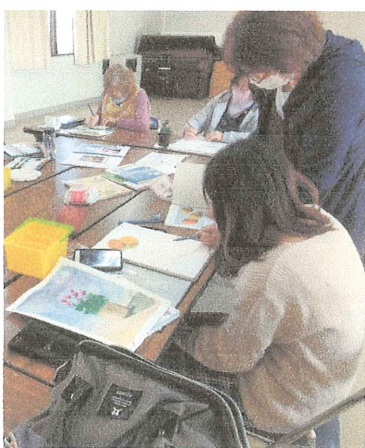
七月から十月は毎月一回、十一月は二回開催して作品を仕上げていきます。



水彩画教室

十一月十二日(木)には、やはり今年度五回目となる水彩画教室が開かれました。この日は、指導者の中山主事と五人の参加者が集い熱心に絵筆を動かしていました。

モチーフとする写真などを見ながら鉛筆等で下書きした絵に、水彩で色付けをしているところでした。



公民館での水彩画教室は五年目というところで、参加者の皆さんの筆遣いは素人から見ると**ベテラン**とも思えるほどでした。

川柳教室

秋の紅葉が始まった11月4日(水)の午後、奥野田公民館では今年度三回目の川柳教室が開かれました。10名のメンバー中一人が都合により欠席となりましたが、講師の田口先生を含めて10人が集い、題詠句と自由吟を各自が三句づつ持参して田口先生に撰評をいただきました。(☆印は講師作)

次回のお題は「和」です。引き続き参加者募集中!

題詠句 お題『奥』

自由吟

- ・ 胸の奥ゴウゴウと鳴る川がある
- ・ 胸の奥秘めた思いをあの世まで
- ・ 川柳で人の心の奥を知る
- ・ 彼の家初めて上がる奥座敷
- ・ 盆迎えご先祖さまは奥座敷
- ・ 奥の間はご先祖様が勢揃い
- ・ コロナ禍は奥の奥まで忍びこみ
- ・ 九二才同年入院奥なやみ
- ・ 牛奥の岩堂まさに奥の院

- ・ 白紙には戻せないのに削除キー
 - ・ デジタル化ついていかれぬ石頭
 - ・ 長雨に猛暑厳冬の日本
 - ・ 年ごとに庭木の手入れえらくなる
 - ・ 賑わった街はシャッター多くなり
 - ・ 楽の方流されそうで立止まる
 - ・ スマホデビューボタンが並びどれおすの
 - ・ 七五三神社参りの千歳飴
 - ・ 満月を月に二度見る神無月
- ☆農閑期奥座敷から好い話
- ☆バスガール何と読むかと西広門田橋



ホワイトボードに貼りだした参加者の秀句



お知らせ

毎月、この「公民館だより」の原稿提出が前月の17日までとなっているため、前月の15日頃までの内容しか掲載できません。従って公民館祭りについての記事は、次の1月号に掲載します。

12月の予定

- 12月2日(水) 13:30～ 川柳教室
- 12月3日(木) 13:30～ いきいき健幸教室
- 12月4日(金) 19:00～ 奥野田健康づくりの会
- 12月8日(火) 13:30～ フラサークル
- 12月13日(日) 8:00～ 塩山南野球スポーツ少年団
- 12月22日(火) 13:00～ フラサークル

※11月15日時点の予定のため、今後追加となる可能性があります。